

作品タイトル:「Appear at midnight」

メンバー:朝場江里 伊藤玲 側見来留 林莉奈 水越柊斗 藤原朱里 宮下桃音 宮田紗花 横山大河
竹内隆宏(引率者) 計10名

スケジュール:7月23日(火)~7月28日(日) 5泊4日

合宿プランの目的

- ・普段の学校では成し得ないプロジェクトを計画的に、時には即興的に取り組むことで学びを深めていく。さらに秋田という地で表現の即興性について考え、根源的な表現の在り方を模索する。
- ・アートワークだけではなくエンターテインメント性などを取り入れ、アートの枠を飛び出した画期的な合宿にする。
- ・去年の経験を活かし、さらに秋田を掘り下げることをひとつの目的とし、秋田の夜を全力で楽しみ、それらをさまざまなメディアを通し発信していく。
- ・地域との交流を積極的に図りそこに根付く文化などに直接関わる事で、あるがままの秋田をひも解いていく。

この合宿の“超おもしろい“ところ

人は暗闇に対する恐怖心から、夜に対してマイナスなイメージを抱きがちであるが、一方でその時間帯になると、より本能的に動けるようになるという側面を併せ持つ。
夜というものは人の感情に影響を与えてきた。それこそが夜の魅力ではないのだろうか。
私達は夜の魅力を新たに追求したいと考え、そこで日本一「夜が長い」秋田に注目した。秋田の魅力を用いて秋田を盛り上げるためにも夜の活動を厭わない「夜光星」となり、まだ知らない秋田の夜の魅力を調査し、体感する。その中で夜を局所的に照らすことで太陽の光では照らしきれない、ものの魅力を際立たせる言わばスポットライトになる。また昼間は秋田の魅力を取り入れそれを私たちのエネルギー源として蓄える。そして夜の活動源とする。人間は光に集まる正の走光性という習性を持つ。それは本質的に人間が暗闇を恐れるからではないかと私たちは考えた。そこで「UFO」を光源として活用し人を引き寄せ、秋田米+長野米をミックスしたきりたんぼを配布する。この行為と、「夜鍋(よなべ)」の開催が私達の第2のミッションである。
私達のいた所には、いつまでも残光が輝き続ける。

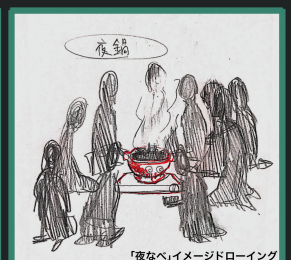
この合宿のみどころ

夜光星は、夜と人の本能に関係した即興的な行為を思うがまま自由に展開していく。それらが生み出す偶然性とあらゆる表現における根源的欲求の探求。
私達夜光星の原始的ではちゃめちな行動がこの合宿のみどころである。
「夜鍋」とは、秋田特有の食文化に長野のエッセンスを融合させ新たな鍋を作り、夜なべと言う行為そのものが光源となりそこに人が集まっていくと言う正の走光性における一連のプロセスを形式的に有した怪しさだようパフォーマンスアートである。なお正の走光性とは生物が光刺激に反応して移動することである。
また、ミックスきりたんぼの配布で使用する移動式の屋台「UFO」とはU(unidentified)F(factory)O(oishiikiritanpo)の略称である。※要は未確認美味しいきりたんぼ工場。正の走光性と、私たちが帰る家とを重ね合わせた。したがってUFOは光を放つ光源であり帰る家の象徴である。
これら食を介した表現的アプローチを行うことも今回のみどころのひとつである。

最終的なかたち

人の感情に影響を与える夜と人との関係を掘り下げ探求し、私たちが秋田で感じ、考え、得たことをすべて基盤とし希望的新たな価値観が生まれるような痕跡を秋田の地に残す。
また私達のそれら行動のすべてを映像作品として完成させアーカイブとする。

夜光星は光り続ける
私達一人一人は光源となり
夏の有り余るパワーにより
黄昏とともにギラギラと輝き続けるよう
私達はその軌跡を残し去っていく



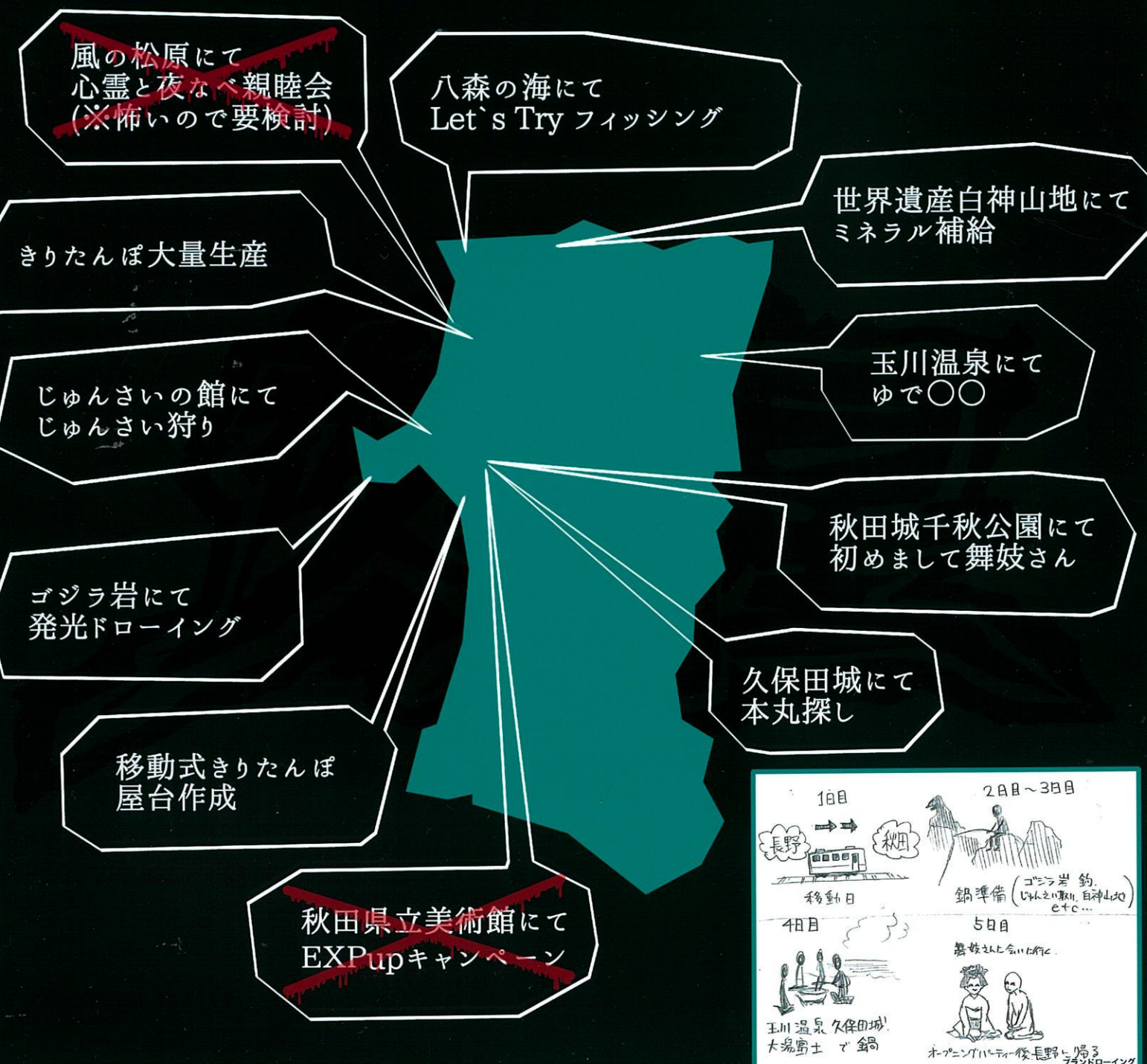
期待できる効果

- ・「夜」の新たな魅力を探索しそれらを様々な方法で随時発信していくことで秋田の日照時間が短いというところから生まれるマイナスイメージをプラスに変えていくことができる。
- ・予測のつかない即興的なアクションを起こしていくことで、人がなぜ表現を必要とするのかという美術史の教科書からだけでは学べない根源的な欲求を体感し、新たな学びとすることができる。
- ・長野と秋田の米を混ぜたきりたんぼを作り秋田の人々に食べてもらうことにより、秋田と長野の融合を実現することによってお互いの魅力に気づくことができる。
- ・「夜」と「人」の「本能」の本質を掘り下げることによって、夜の魅力を知り、人が普遍的に持つ不安や恐怖の正体に迫り、その中で希望を見出す。このプロジェクトは日本全体への強い希望的メッセージとして発信できるだけでなく、参加メンバー全員がこれから生きていく為の力としていくことが望める。

夜光星とは

夜光星とは長野県松本市エクセラン高等学校美術科2、3年で構成された集団である。「美術を止めるな」を目標し日々、奮闘している。夜光星は夜に自ら光を放つ光星のことである。

夜光星 行動マップ



夜光星 メンバー紹介 yakousei-member



朝場江里:2年
洋画専攻
メンバー唯一の秋田県民。
大食い。食べ物を前にすると
目が輝く。



伊藤玲:3年
メディア専攻
よく寝る。よく育つ。



側見来留:3年
メディア専攻
去年はパンダだった。
生来て腸に留まる。



林莉奈:2年
デザイン専攻
今をときめくキラキラJK
息をするように「かわいい」という
単語を発する。



水越柊斗:3年
デザイン専攻
喋ること8割は嘘。
真実とはなんなのか。
水越とはなんなのか。



藤原朱里:2年
メディア専攻
笑いのツボが浅い人。
闇によく溶ける。



宮下桃音:2年
デザイン専攻
生粋の夜型。
よくフリーズする。



宮田紗花:3年
叡智にまる(右)
彫刻専攻
日本が好き。日本を考えた
制作をしている。



横山大河:3年
unknown.



竹内隆宏(引率者)
みんながあの時手にした栄光は、
次のステップに挑戦するための大きな
自信になる。もっと輝ける!照らせる!
待っていてくれ、秋田…!!

夜光星 予算案 yakousei-budget

【制作予算見積書】

費用区分	No.	内容	数量	単価	金額	備考
移動費	1	青春18きっぷ(往復)	5	11,850	59,250	松本駅～秋田駅
	2	レンタカー	1	42,500	42,500	秋田県内移動
	3	秋田～長野(※1名のメンバー)	1	9,150	9,150	
	4	千秋公園入り口～秋田公立美術大学	10	250	2,500	バス代
	5	長野～直江津(電車往復)	20	1,500	30,000	
制作費	1	光るグッズ			10,000	
	2	リヤカー	1	10,000	10,000	土台
	3	夜光塗料			5,000	
	4	募金取り	3	1,500	4,500	担当メンバー数人
	5	粘土	1	10,000	10,000	編制作の材料
食費	1	編費用			4,000	

総合計金額(上記金額の合計額)	186,900
上記合計額のうち主催団体の支援を希望する額合計	200,000



七福神漬けNEOとして

2018/04

「小布施アート×苗市2018」 玄照寺/長野

「黒板アート甲子園2018」 エリア賞・アイディア賞 受賞

2018/07

「白梅祭2018(本校文化祭)」にてインスターレーション発表・パフォーマンス実施

2018/09

U18 高校生クリエイティブキャンプ2018 最優秀賞 受賞

2018/09～2019/02

「第1回 長野プロデュースデザインコンテスト」 最優秀賞 受賞

夜光星として

2018/05

「イオンモール フェイスペイント」 イオンモール/長野

2018/06

「あやめまつり フェイスペイント」 あやめ公園/長野

2018/07

「市民タイムスコラム用似顔絵」 制作/長野

2018/09

「第70回長野美術展 高校生一日学芸員」 松本市美術館/長野

「信濃の国 原始感覚美術祭2018-水のハレとケ」 木崎湖周辺/長野

2018/10

「第72回松本学生美術展」 松本市美術館/長野

2019/01

「第40回長野県高等学校美術展」 茅野文化会館

2019/02

「エクセラン高等学校美術科18期生卒業制作展×美術科展」 松本市美術館/長野

2019/04

「絵本作家あべ弘士さんと、どうぶつをつくろう」ワークショップ手伝い

信毎メディアガーデン/長野

2019/05

「黒板アート甲子園2019」 審査員特別賞・アイディア賞 受賞

「白板アート甲子園2019」 最優秀賞 受賞

